

2023年度 (52期) 環境経営レポート



(対象期間：2023年5月21日～ 2024年5月20日)



2023年9月 SCAJ ニコス展示ブース
(アジア最大のスペシャルティコーヒーイベント)



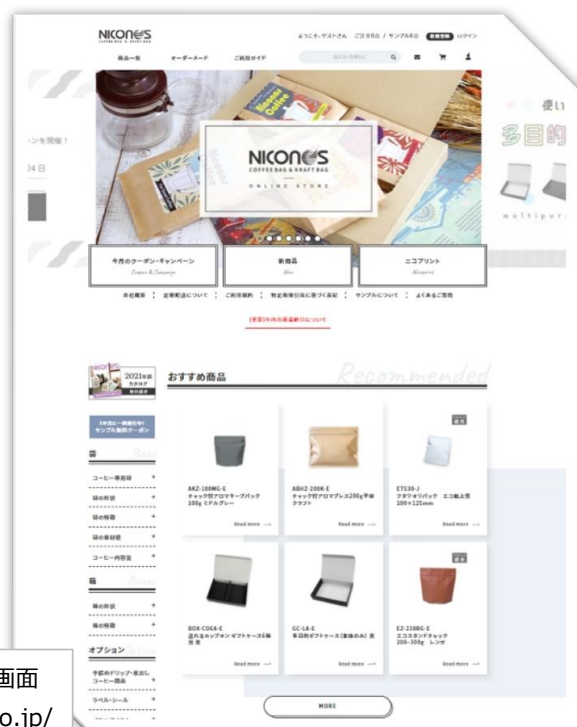
作成日：2024年7月3日
更新日：2024年8月22日

目 次

項目	ページ
ごあいさつ 環境経営方針	3
組織の概要 事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表 主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6 5 9
各事業所の取り組み紹介	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無 緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

ニコノス株式会社 沿革

- 1972.06 「日本珈包印刷株式会社」設立
- 1991.05 社名を「ニコノス株式会社」に変更
- 2005.05 “アロマブレスバック”販売開始
- 2007.04 ホームページを開設
- 2010.11 WEB事業部を開設し、通信販売を本格化
- 2012.12 “アロマキープバック”販売開始
- 2013.01 日本スペシャルティコーヒー協会会員となる
- 2015.09 “ニコプリント”スタート
- 2022.09 エコアクション21取得



ニコノス WEBページトップ画面
<https://www.niconos.co.jp/>

ごあいさつ

「エコアクション21」の活動を初めて3年が過ぎようとしています。
最初は「包材を扱う会社として何か環境にいいことをしよう」という思いからでした。
けれど続けるうちに「まず職場環境を整えること」が「地球環境を整えることに繋がる」ということに気づき、
社を挙げて職場を心地よくすることに尽力しています。
今期からスタートしたスタッフが毎日10分掃除をする「こそうじ」では、
環境意識が変わり、身の回りの整理整頓が徹底できてきています。
また、日常的に電気・水道などのエネルギーの削減に積極的に取り組んでいます。

本業の包装資材の面では、バイオマスフィルムやインキなど環境対応の素材を使用した商品のアイテム数が
少しずつ増えてきており、その販売量も徐々に増えてきていると報告を受けています。

これまでの「エコアクション21」活動を通して、ニコノスの環境経営指針は向上してきていると自負しています。
これからも引き続き様々な環境活動に取り組んでまいります。

環境経営方針

環境経営理念

「社員一人一人の力（power）を結集し、
安心安全で包む（package）技術を探求し、
求められるカタチを提案（proposal）する」

3つのPの基本理念に基づき、環境保全の継続的改善に取り組むとともに、
環境にやさしい商品の企画・提案を進めて参ります。

環境保全への行動指針

- 1．二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・給水量の継続的な削減に努めます。
電気、ガソリン等の使用量削減に努めます
3R活動の展開による廃棄物の削減・再資源化に努めます
節水活動による水使用量の削減に努めます
- 2．環境に配慮した活動・提案を継続的に努めます。
資材や物品のグリーン購入に努めます
環境に配慮した商品の企画・提案に努めます
化学物質の適正管理に努めます
- 3．社内において全従業員に環境経営方針を周知し、全員参加により取り組みを目指します。
- 4．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日：2021年7月1日

代表取締役 片山 恵子

組 織 の 概 要

更新日： 2024年6月20日

(1) 名称及び代表者名

ニコノス株式会社
代表取締役 片山 恵子

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目7番29号
大阪OFFICE 大阪府大阪市都島区都島中通2丁目22番15号
第2倉庫 大阪府大阪市都島区都島本通4丁目1番15号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 ゼネラルマネージャー 安藤 めぐみ TEL：06-6924-0348
担当者 特販部 吉川 朋子 TEL：06-6924-0348

(4) 事業内容

コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売

(5) 事業の規模

年間販売数量 41,732 千枚

	本 社	大阪OFFICE	第2倉庫	合計
従業員 名	8 名	17 名	0 名	25名
延べ床面積 m	240 m	230 m	282 m	752m

(6) 事業年度

5 月 21 日 ～ 5 月 20 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： ニコノス株式会社
対象事業所： 本 社
大阪OFFICE
第2倉庫

活動： コーヒーに関する包装資材の企画・製造・販売

□事業や製品(商品)の紹介

【コーヒー専用袋】
アロマキープパック® 各種



Aroma Keep Pack®

アロマキープパックのしくみ

アロマキープバルブ®は多層構造のフィルム製で、煎りたてのコーヒー豆から出るガスを袋外に放出し、外気(酸素)を遮断して鮮度を保ちます。長期保存対応コーヒー専用袋です。ボタンバルブに比べて、薄いフィルム製なので保管の省スペース化がはかれます。

アロマキープパック、及びアロマキープバルブはニコノス株式会社の登録商標です



【オリジナル印刷】ニコプリント

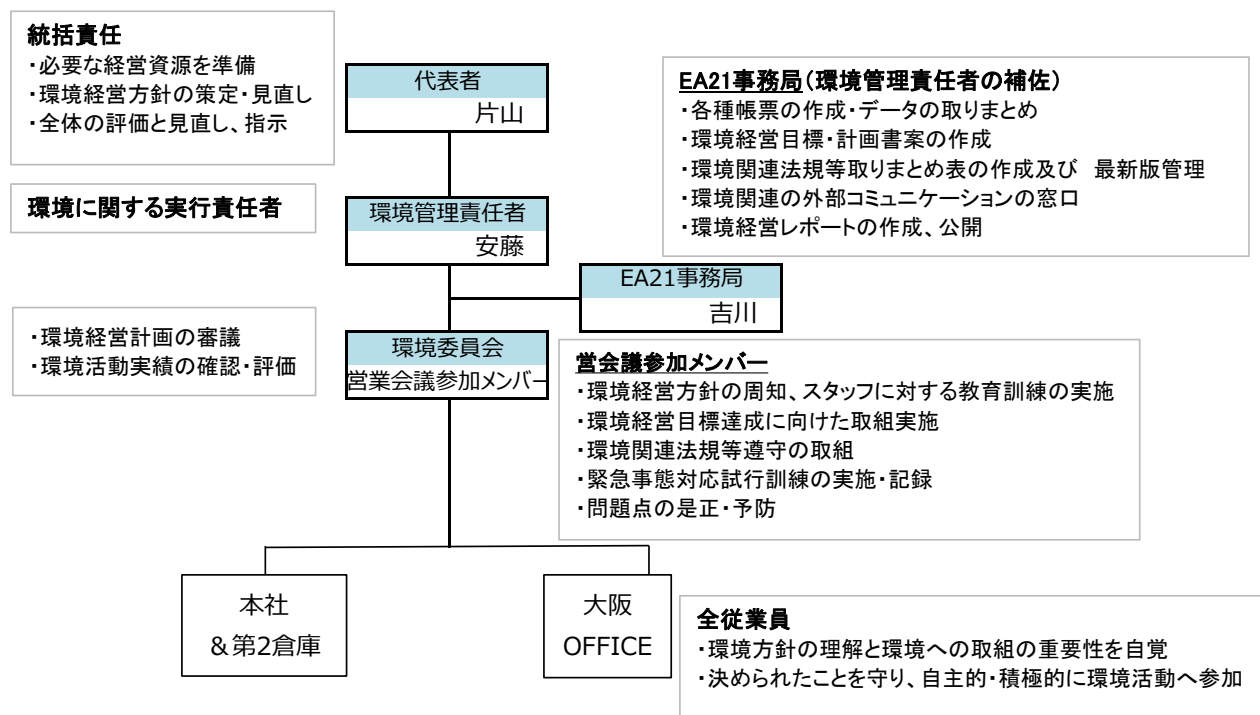
対応袋に1色印刷ができるサービス



【ギフト対応】送れるクラフトケース 各種



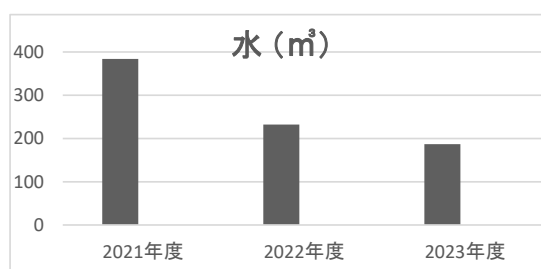
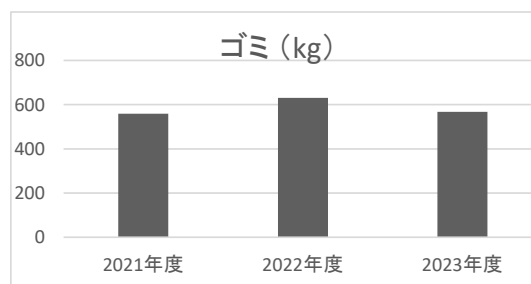
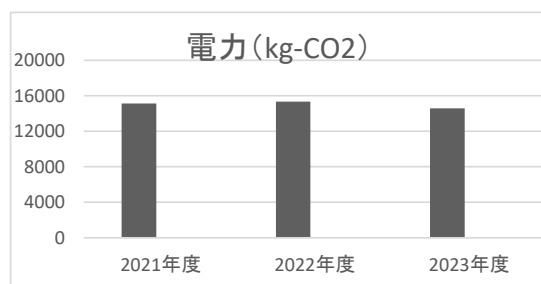
環境経営組織及び役割・責任・権限



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	24,986	24,793	18,255
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	559	631	567
産業廃棄物排出量	kg	1,225	945	440
水使用量	m ³	384	232	187
※電力の二酸化炭素排出係数(調整後)		0.318	0.318	0.318 kg-CO ₂ /kWh
※電力会社と採用年度		関西電力 2019年度	関西電力 2019年度	関西電力 2019年度

□エコアクション21取得(2021年度)より 3年間の推移



環境経営目標及びその実績

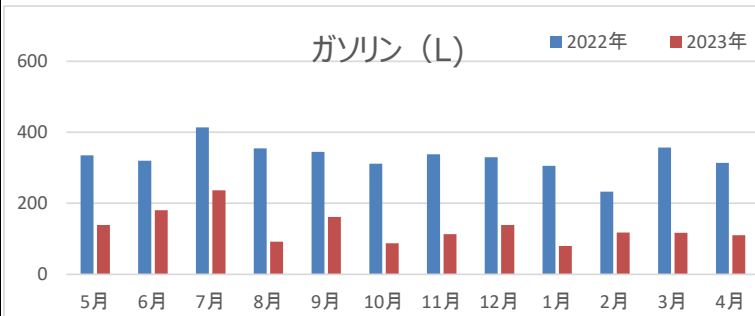
□環境経営目標及びその実績

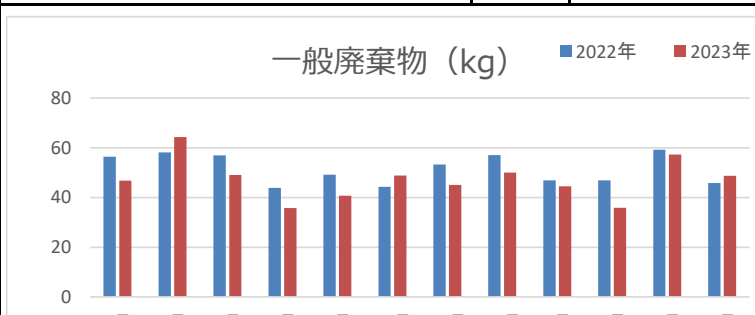
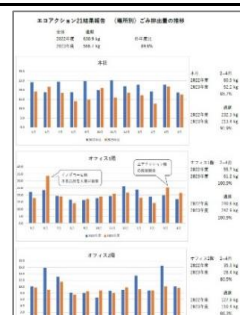
年 度 項 目		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	15,333	15,119	14,601	○	14,965	14,812
	基準年度比	2022年	99%	95%		98%	97%
	原単位 kg-CO2/千円	0.0185	0.0182	0.0170	○	0.0180	0.0178
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	9,459	9,374	3,654	○	9,270	9,176
	基準年度比	2022年	99%	39%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	24,793	24,493	18,255	○	24,236	23,988
	原単位 kg-CO2/千円	0.0298	0.0296	0.0212	○	0.0293	0.0290
一般廃棄物の削減	kg	631	615	567	○	606	600
	基準年度比	2022年	98%	90%		96%	95%
産業廃棄物の削減	kg	945	898	440	○	851	832
	基準年度比	2022年	95%	47%		90%	88%
水道水の削減	m ³	232	230	187	○	227	223
	基準年度比	2022年	99%	81%		98%	96%
インクの適正管理		行動目標(次項による)					
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み		行動目標(次項による)					
課題を解決しチャンスを活かす取組		行動目標(次項による)					

環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成
活動:○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画																																							
数値目標		○	昨年比95%となった。特に本社の使用量が下がっており、冷蔵庫の買い替え、業務用エアコン設置、LEDへの交換の効果がはっきり表れた。オフィスでは照明を全てLEDに切り替えた効果があった。第2倉庫は夏場に商品品質保持のため除湿機を稼働する時間が増え、使用量が増えたがこれは必要と判断する。																																							
原単位目標		○																																								
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房20℃)		○																																								
・不要照明の消灯		○																																								
・業務の効率化による定時退社		○																																								
電力 (kWh) ■ 2022年 ■ 2023年 <table><thead><tr><th></th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022年</td><td>3,344</td><td>4,742</td><td>5,363</td><td>5,769</td><td>4,499</td><td>3,189</td><td>3,205</td><td>4,102</td><td>3,748</td><td>3,748</td><td>3,178</td><td>3,011</td></tr><tr><td>2023年</td><td>3,031</td><td>4,701</td><td>5,998</td><td>5,961</td><td>4,607</td><td>2,470</td><td>2,769</td><td>3,377</td><td>3,807</td><td>3,466</td><td>3,232</td><td>2,496</td></tr></tbody></table> 新設した 本社 1階 業務用エアコン 低圧電力が 昨年比85.6% となった。 					5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2022年	3,344	4,742	5,363	5,769	4,499	3,189	3,205	4,102	3,748	3,748	3,178	3,011	2023年	3,031	4,701	5,998	5,961	4,607	2,470	2,769	3,377	3,807	3,466	3,232	2,496
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																														
2022年	3,344	4,742	5,363	5,769	4,499	3,189	3,205	4,102	3,748	3,748	3,178	3,011																														
2023年	3,031	4,701	5,998	5,961	4,607	2,470	2,769	3,377	3,807	3,466	3,232	2,496																														
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																														
2022年	3,344	4,742	5,363	5,769	4,499	3,189	3,205	4,102	3,748	3,748	3,178	3,011																														
2023年	3,031	4,701	5,998	5,961	4,607	2,470	2,769	3,377	3,807	3,466	3,232	2,496																														

自動車燃料による二酸化炭素削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画																																							
数値目標		○	前年比39%となった。8月より2台あった営業車のうち1台の使用をやめたため大幅減となる。今までの自社での配達分は運送会社を使った出荷に振り分けて対応。 来期より倉庫間の商品運搬用に1台追加となるので、導入時にメンバーで「エコドライブ」を共有しておく。																																							
・アイドリングストップ		○																																								
・効率的なルートで配送		○																																								
・更新時にエコカーを選択																																										
ガソリン (L) 2022年 2023年 <table><thead><tr><th></th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022年</td><td>335</td><td>320</td><td>414</td><td>355</td><td>345</td><td>312</td><td>338</td><td>330</td><td>306</td><td>233</td><td>357</td><td>314</td></tr><tr><td>2023年</td><td>139</td><td>181</td><td>237</td><td>92</td><td>161</td><td>88</td><td>113</td><td>139</td><td>80</td><td>118</td><td>117</td><td>110</td></tr></tbody></table>					5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2022年	335	320	414	355	345	312	338	330	306	233	357	314	2023年	139	181	237	92	161	88	113	139	80	118	117	110
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																														
2022年	335	320	414	355	345	312	338	330	306	233	357	314																														
2023年	139	181	237	92	161	88	113	139	80	118	117	110																														
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																														
2022年	335	320	414	355	345	312	338	330	306	233	357	314																														
2023年	139	181	237	92	161	88	113	139	80	118	117	110																														

一般廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画																																							
数値目標		○	前年比90%となり、目標を達成。本社20kg、オフィス2階17kgの大幅な削減。オフィス1階は日々の量は減っており、袋や機械の廃棄で突発的に増えた月があった。 四半期ごとに各セクションの数字をグラフにして会議で報告したことが、意識向上につながったと思われる。																																							
・分別の徹底		○																																								
一般廃棄物 (kg) ■ 2022年 ■ 2023年  場所別 昨年対比 ・本社 91.9% ・大阪オフィス1階 100.9% ・大阪オフィス2階 86.3%  <table><tr><td></td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td><td>4月</td></tr><tr><td>2022年</td><td>56</td><td>58</td><td>57</td><td>44</td><td>49</td><td>44</td><td>53</td><td>57</td><td>47</td><td>47</td><td>59</td><td>46</td></tr><tr><td>2023年</td><td>47</td><td>64</td><td>49</td><td>36</td><td>41</td><td>49</td><td>45</td><td>50</td><td>44</td><td>36</td><td>57</td><td>49</td></tr></table>					5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2022年	56	58	57	44	49	44	53	57	47	47	59	46	2023年	47	64	49	36	41	49	45	50	44	36	57	49
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																														
2022年	56	58	57	44	49	44	53	57	47	47	59	46																														
2023年	47	64	49	36	41	49	45	50	44	36	57	49																														

産業廃棄物の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	8月末の地域事務局判定結果での指摘があり、前期までの換算係数による数値把握から実測値へと変更したため数値乖離が発生した。また、前期までの数には法定帳票の溶解処理(リサイクル)分210kgが含まれていたため、今期より除外している。
・作業ミスによる廃棄量の削減		○	
・素材別での計測		○	

産業廃棄物 (kg)



月	2022年	2023年
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
4月	945	72

今期より社内にて
実測するよう変更。

(前期までは産業
廃棄物管理表を
ベースにしていた)



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2022年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	945
2023年	33	37	33	31	30	28	28	32	33	34	52	72

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画																																							
数値目標		○	前年比81%となった。本社から1部署が移動したため65%の大幅減、大阪オフィスは104%となった。 来期は本社の印刷機が1台増えることが決まっており、人も増えるため水の使用量も増えることが予想されるので、印刷枚数を加味した評価を考えていきたい。																																							
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○																																								
・漏水点検		○																																								
水道水 (m³) 2022年 2023年 <table><thead><tr><th></th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>4月</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022年</td><td>20</td><td>21</td><td>17</td><td>19</td><td>17</td><td>17</td><td>22</td><td>19</td><td>20</td><td>17</td><td>22</td><td>21</td></tr><tr><td>2023年</td><td>20</td><td>16</td><td>13</td><td>16</td><td>13</td><td>16</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>13</td><td>15</td><td>17</td></tr></tbody></table> 本社：新しい蛇口 節水効果に加えて 使い勝手がよくなった。					5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	2022年	20	21	17	19	17	17	22	19	20	17	22	21	2023年	20	16	13	16	13	16	15	16	17	13	15	17
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																														
2022年	20	21	17	19	17	17	22	19	20	17	22	21																														
2023年	20	16	13	16	13	16	15	16	17	13	15	17																														
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月																														
2022年	20	21	17	19	17	17	22	19	20	17	22	21																														
2023年	20	16	13	16	13	16	15	16	17	13	15	17																														

インクの適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・容器の蓋の徹底	○	インクの購入日と使い切った日を管理し、適正使用を心がけており、それが印刷ロス率の低下にもつながっている。空になった缶は調色時に使用しており、処分時もインクを拭き取ってアルミとして回収できる状態にしている。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	△	

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・環境に配慮した商品の販売	○	環境配慮型フィルムを使用した商品を7アイテム発売、既存商品1アイテムでもリサイクルペットへの材質変更を行う。 9月のSCAJ2023(アジア最大のスペシャルティコーヒーイベント／東京ビッグサイト)出展にて、エコ商品リーフレットを配布して来場者にアピール。5月にWEBページトップに環境対応商品ピックアップページを作成、会社としての取り組みを紹介する。
・製品・情報の公開	○	
《新商品》 シースルースタンドチャック袋 100g 袋の素材の一部に、生物由来成分30%含有のバイオマスフィルムとリサイクルPETを使用している。		WEBトップページ 「環境配慮型商品」

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・毎日のこそうじ(10分清掃)スタート	○	・毎朝10分間、スタッフ全員で事務所の掃除をスタート。全員で行うので、ゴミの分別への意識が揃ってきたことや、席が遠いメンバーとのコミュニケーションが増えるなど、よい効果が出ている。 ・袋印刷に関するリスクアセスメント対象物質13種類のレポートを作成、関連セミナー参加。 ・繁忙期の倉庫スペース不足解消のため、パレット倉庫の活用をスタート。WEBで管理が可能で、在庫切れのリスク解消策となっている。
・印刷:リスクアセスメントの整備	○	
・在庫管理:パレット倉庫の活用	○	

グリーン購入について

OA機器、文具はエコマークの商品を積極購入

3台のレーザープリンタ：再生トナー・再生ドラムを使用

2024年3月に複合機を買換え



アスクルのインドネシア産コピー用紙に切替



各事業所の取組紹介



ニコノスは2023年9月1日に
「健康宣言」を行いました。
(全国健康保険協会大阪支部)
職場での健康づくりに取り組んでまいります。

<大阪OFFICE>

エコアクション21 掲示

掲示板の下が

- ・紙類
- ・プラゴミ

の分別収集場所となっている



< 本社 >

ごみの分別

昨年まで廃棄物として捨てていた紙帯を
今期は紙のリサイクルとして分別しており、
大幅削減につながっている。



蛇口交換&節水

本社では、インクの調色など作業工程で水
を使うことが多いので、節水を徹底。今期
は蛇口レバー式に交換した。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

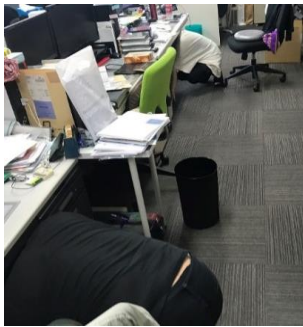
環境関連法規等名称	該当する設備・項目
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物(廃プラ)の保管・処理委託
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫の修理・廃棄時の適正処理と簡易点検
家電リサイクル法	エアコン、冷蔵庫・冷凍庫の廃棄時のリサイクル
顧客要求事項	環境管理、品質管理

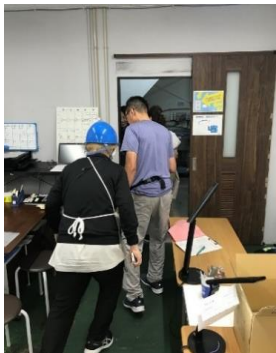
環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

対象期間については苦情等はありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 地震の発生	
■実施日： 2023/8/24	■実施場所： 大阪OFFICE 1階・2階
■参加者： 1階 5名 2階 8名	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練 1階：揺れを感じたら手近にある段ボールなどで頭部を守り、できるだけ速やかに出口から外に出る。 2階：机の下で身を守り、揺れが落ち着いてから外へ避難する。避難時に電気のブレーカーを切る。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
1階は作業台しかなく身を隠せる場所がないため、段ボールなどで頭を守りながらできるだけ早く外に出るように変更した。2階は手順に変更はなく、ブレーカーの位置を全員で確認する。	
■実施状況の様子	
 1階	 2階

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/8/24	■実施場所： 本社 2階
■参加者： 6名	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 全員で消火器の使い方の動画を見る。印刷機から火が出たことを想定して消火・避難を行う。	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
消火器の使い方の動画を見て確認。火災訓練と地震が起きたことを想定して避難場所の確認を行った。	
■実施状況の様子	
	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年7月2日

【当該年度の総括】

当該期は円安でインバウンド需要も重なり、国内のコーヒー業界が活況で弊社の扱う包材も販売量は微増の傾向です。

エコアクション21の実践に関しては、職場環境を改善することを徹底し、廃棄物の分別や節電節水の目標や推移表を掲示してスタッフ全体で積極的に取り組んでいます。

◇電力による二酸化炭素削減

昨年と比較すると、販売数や売上高は増加しましたが、電気使用量はかなり抑えられています。出荷量が増えるのに比例して作業量も増えていますが、全社を挙げて節電を心がけたこと、照明をLEDに交換したり、新型エアコンを増設したことによる節電効果が大きかったと思われます。

◇自動車燃料による二酸化炭素削減

今期は車を1台減らしたことでガソリン使用量は半減しました。ただ、来期は拠点増に伴い倉庫間の荷物運搬用として1台軽自動車の追加を予定しています。各車でガソリン使用量を抑えるよう努力をしていきます。

◇一般廃棄物の削減

今期は特に本社が分別の徹底を心がけてくれました。昨年以上に商品の流通量が増えているにも関わらず、工場内で紙の排出ゴミを資源に振り分けるなどの対策の効果が、一般ゴミの排出量は大幅に削減されています。

引き続き各部署比較での排出量の推移をグラフ化し、全スタッフに回覧することで各人の環境意識を高めるよう努めていきます。

◇水道水の削減

今期は水道の突発的なアクシデントもなく、順調に使用量は削減できています。これからさらに節水を心がけるよう努めていきます。

◇環境に配慮した製品・サービスへの取り組み

今期はリサイクル原料を採用した製品や、従来商品をアルミレスの素材に切り替えるなど、エコを意識した新製品を多数企画販売しました。微増ではありますが販売量も上昇の傾向にあります。社会全体が脱二酸化炭素の包材を求めていることを実感しています。

【今後の課題】

今期の課題は商品の欠品により円滑な出荷ができなかったことです。その解決を図り、商品の在庫スペースを十分に確保するべく「出荷センター」を新規開設しました。つきましては、来期は拠点が増えることでエネルギーの消費量が増えることが予想されます。しかし、その環境変化に流されることなく全体の消費エネルギーが大幅に増加しないようスタッフ一同心掛けていきたいと思います。

また、今後もエコアクションの活動を通じて、環境意識の向上につながる新商品開発を継続し、コーヒー業界だけでなく幅広い層に支持されるよう広報活動が続けます。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり	
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり	(2023年度の実績を基準値とし、1拠点増を考慮した目標)
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり	

□編集後記

エコアクション21の活動をはじめて3年が経ったので、今回電力・ゴミ・水の推移を掲載しました。グラフでみると全体的に微減と言う結果ですが、実際の活動を振り返ると数字では計り知れない影響があり、会社の一つの指針になってきたと感じます。

全メンバーで行う日々の計測や掃除から積み重なった数字を、1年間の結果としてまとめ、見直し、来期の目標を立てるサイクルを継続することで、少しずつみんなの意識が高まり、会社としての環境に対する行動レベルが上がってきているのだと思います。

来期でも、またたくさんの気づきと出会い、みんなでバージョンアップしていけることを楽しみにしています。